

弁天池(内原野池)

(べんてんいけ(うちはらのいけ))



全 景



堤 体



ツツジ祭り

ため池の概要

□ため池の所在地

高知県安芸市

□ため池の特徴

弁天池は、土佐藩家老で安芸千百石を知行した五藤家の五代当主五藤正範が新田開発のために築造(1673～1680頃)したといわれています。

現在も16haのかんがい面積を有し、安芸市の基幹産業で生産量日本一を誇るまでに発展した「冬春ナス」の栽培に、年間を通じて利用されています。

また、五藤家の野外遊場として一帯に別荘や遊歩道などが整備されたことが、現在の景観美の礎となっており、春先から初夏にかけては桜・ツツジ・藤・アヤメ・ショウブと花が咲き、特に春には1500本といわれるツツジが咲き乱れます。

弁天池を中心とする内原野地区一帯は、県立自然公園区域にも指定されており、冬にはカモなどの渡り鳥の飛来し、春には「ツツジ祭り」が催されています。

また、200余年の歴史と文化を誇る内原野焼きも有名で、年に一度「登り窯フェスタ」が開催され、官民一体となってその維持・振興に取り組んでいます。

関連情報

安芸市HP <http://www.city.aki.kochi.jp/>

安芸市立歴史民族資料館 <http://www.city.aki.kochi.jp/rekimin/>

文献:内原野開発